**《Lesson 3》一般動詞の否定文（現在形②）＜he / she / it＞**

主語が he / she / itの際の、一般動詞の否定文は、主語がI / you / we / they の一般動詞の否定文と似ているのですが、2点注意しないといけない点があります。

**1. do not（don’t）を does not（doesn’t）に変える。**

**2. 一般動詞を原形に変える（＝一般動詞についている s / es を取る）**

**【一般動詞の否定文（現在形②）＜he / she / it＞：基本の形】**

**He**
**She    +   does not (doesn't) ＋  一般動詞の原形  （＋目的語）（＋～）.**
**It**

 ＜例＞ He **does not (doesn't)** **run** every morning. （彼は、毎朝は走りません）
　 She **does not (doesn't)** **teach** science. （彼女は科学を教えません）
    My dog **does not (doesn't)** **like** this ball.　 （私の犬はこのボールが好きではないです）

**【一般動詞の否定文（現在形②）：作り方】**
ステップ①： **肯定文**を作る。

ステップ②： 動詞の前に **does not**（または **doesn't**）を足す。

ステップ③： 一般動詞を**原形に戻す**（＝ s/esを取って、**元の形に戻す**）。

**＜例1＞「彼は、毎朝は走りません」という文の場合**

ステップ①：肯定文を作る。　**→ 彼は毎朝走ります。**

　 He runs every morning.

ステップ②：動詞の前にdoes not（または、doesn’t）を足す。

　 He does not (doesn’t) runs every morning.

ステップ③：一般動詞を原形に戻す（＝ s/esを取って、元の形に戻す）。

　 He does not (doesn’t) run every morning.

**＜例2＞「彼女は、科学を教えません」という文の場合**

ステップ①：肯定文を作る。　**→ 彼女は科学を教えます。**

　 She teaches science.

ステップ②：動詞の前にdoes not（または、doesn’t）を足す。

　 She does not (doesn’t) teaches science.

ステップ③：一般動詞を原形に戻す（＝ s/esを取って、元の形に戻す）。

　 She does not (doesn’t) teach science.

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。